

%%
タイトル：RHIC、SPSでの高エネルギー重イオン実験の現象論的解析
日時：10月27日(月)、28日(火)
場所：RCNP(大阪大学核物理研究センター)本館4階講義室

研究会世話人
美谷島実
所属：信州大学理学部
住所：長野県松本市旭 TEL:0263-37-2897
e-mail:biyajima@azusa.shinshu-u.ac.jp

参加者 25人 内外国からの参加者1人

内容
タイトルの通り、現在 アメリカBNLのRHICで行われている超高エネルギー重イオン散乱実験データの現象論的な解析について、色々な議論がなされた。まず最初に、実際に実験を行っている実験家から、重粒子関連実験データと軽粒子関連実験データに分けて、それぞれ丁寧な総括報告をしてもらった。その後、理論家による現象論的な分析が報告され、流体モデルや、分子動力学的モデル、確率過程に基づくモデルなどが紹介され、結果の詳細な検討がなされた。

成果
研究会で発表に使われたスライド及び、研究会報告をインターネット上に公開している(<http://www2.tokuyama-u.ac.jp/muroya/RCNP/default.html>)。研究会報告は雑誌「素粒子論研究」に投稿し、5月に出版予定である。

さらに、この研究会を契機とした実験家と理論家の共同研究もスタートしている。

以上